

VOLANTE

— Magnetic Echo Machine —

USER MANUAL

日本語ユーザーマニュアル

strymon[®]

目次

フロントパネル	3
リアパネル	6
フットスイッチ	8
SOUND ON SOUND	9
ライブエディット機能	11
エクスプレッションペダル	12
パワーアップモード	13
MULTISWITCH PLUS	15
ファクトリーリセット	16
MIDI スペシフィケーション	17
出力モード	19
信号経路ダイヤグラム	21
主な仕様とスペシフィケーション	22
品質保証に関して	23

トーン セクション

REC LEVEL 録音レベル

録音ヘッドへ入力される信号レベルを決定するアナログゲインコントロールです。このコントロールを上げていくと、太いサチュレーションサウンドが得られます。

Class A アナログ JFET バッファアンプです。プレイのタッチレスポンスを忠実にフォローし、プレイのダイナミクスを自然に再現します。

TYPE



TYPE タイプ

このスイッチで3つのマグネチック・メディア・タイプから1つを選びます。

drum (ドラム): スチールワイヤーを巻いた盤です。そのエコーサウンドは低中域が強調され、高い信号レベルや高いフィードバックに対してサチュレートします(歪みます)。70年代に多用された独特の雰囲気にあふれたサウンドです。

tape (テープ): ビンテージ・エコーマシーンに使われたテープスタイルです。暖かく比較的クリーンで空気感が心地よいサウンドです。

studio (スタジオ): スタジオグレードのオープンリール・テープのタイプです。非常にクリーンなサウンドが特徴です。

MECHANICS メカニクス

機械のスピードの変化、不安定度、録音媒体の質の劣化による音の変化を再現します。最小設定ではフレッシュでクリーンなメディア録音ができますが、最大設定では機械の修理が必要な、故障しそうな状態を再現します。



WEAR 摩損

LOW CUT ローカット...

エコーリピートの低域周波数を調整します。最小設定では低域が伸びた特性で、最大設定では高域だけが強調されたリピートになります。

録音メディアの摩耗による周波数特性の高域劣化を再現します。このコントロールを最小にすると、生き生きとしてフル周波数特性のサウンドが再生されます。

再生ヘッドの構成

feedback フィードバック

各再生ヘッドのフィードバックを on/off します。

PANNING (パンニング) :

各フィードバックスイッチを長押ししながら、TIME ノブでプレイバックの L-R ポジションを決めます。12 時方向がセンターポジションで、ボタンがレッドに点灯します。

ノート: ヘッド再生がオフになっていても、リピート信号は入力へ戻されます。

ノート: 全てのヘッドがセンター定位に設定されても、サイコアコースティック的なステレオ効果が現れます。

playback プレイバック

再生するヘッドを選びます。グリーン LED が点灯します。

ヘッドボリューム

Volume (ボリューム) : スイッチを 1 秒以上長押しすると、フルボリュームと 1/2 ボリュームが切り替わられます。

GREEN LED点灯=フルボリューム

AMBER LED点灯=ハーフボリューム

REPEATS リピート

フィードバック量を調整します。



SPACING スペーシング

回すと、表示に従って再生ヘッドの間隔を変えたのと同じ効果が得られます。

例 : ヘッド 1 = 16 分音符、ヘッド 2 = 8 分音符…

スペーシングの構成

 **even (イーブン)** : 16 分音符、8 分音符、付点 8 分、4 分音符の均等間隔になります。

 **triplet (トリプレット)** : 16 分三連、8 分三連、4 分三連、4 分音符に間隔が設定されます。



golden (ゴールデン) : スペース (ディレイ / エコー間隔) が黄金比に設定されます。マルチヘッド再生では早く密度が高いディレイが再生されます。

silver (シルバー) : スペース (ディレイ / エコー間隔) が白銀比に設定されます。4 x 4 分音符のような束ねたリピート音になります。

Time and Mix

TIME タイム

ヘッド4のディレイタイムを設定します。ヘッド1-3のディレイタイムは、SPACINGコントロールの設定によって決まります。タイムレンジはSPEEDのポジションで異なります。

ヘッド4のディレイレンジ

half : 400ms - 4 sec
normal : 200ms - 2sec
double : 100ms - 1sec

ノート: ディレイタイムは、録音ヘッドと再生ヘッドの距離、メディアスピード、この二つの要素で決まります。ヘッドの間隔はTIMEノブで決まります。SPEEDスイッチがメディアのスピードを決めます。

ECHO LEVEL エコーレベル

ディレイ（エコー）信号レベルを調整します。



SPEED スピード

タイプごとに音色やメカニカルの特徴が異なります。

ノート: 最も短いディレイタイムは、SPACINGコントロールを triplet にして、ヘッドの1を選んで設定できます。

SPRING スプリング

スプリングリバーブ・タンク・サウンドの出力へのミックス調整です。リバーブはエコーの後に追加されます。

リアパネル

...INST/LINE スイッチ

入力レベルを選択します。LINE 入力では 10dB のヘッドルームが加算されます。

ギター信号レベルは INST を選択し、ギターアンプのエフェクトループに接続する際、またはシンセやミキサーのインサートに繋ぐ場合は、LINE を選んでください。

...MIDI IN

MIDI CC & PC 等、フル機能をサポートしている 5-pin の MIDI IN/OUT です。

- MIDIプログラムチェンジ(PC)メッセージは、300プリセットのリコールが可能です。
- MIDIコンテナス コントロール(CC)メッセージを受信できます。コントロールノブ、スイッチ、ボタンのCCメッセージがアサインできます。
- 外部MIDI クロックからディレイタイムの同期が可能です。



INPUTS 入力

ハイインピーダンスのオーディオ入力です。モノ信号はL入力を使用します。R入力に接続すると、出力は自動的にステレオに切り替わります。

OUTPUTS 出力

オーディオ信号の出力です。モノ出力はL出力のみを使います。詳しい説明は 19 ページをご覧ください。

MIDI OUT

MIDI IN ポートで受信したメッセージ、または Volante で設定された MIDI メッセージを送信できます。詳しい説明は 14 ページをご覧ください。

ノート: Volante は MIDI IN または USB で受けた、MIDI クロック、MIDI PC、MIDI CC に対応します。

EXP エクスプレッション



ECHO LEVEL

TAP ボタンを長押ししながら本機の電源を入れ、ECHO LEVEL ノブでモードを選びます。それぞれのモードは TAP LED で表示されます。

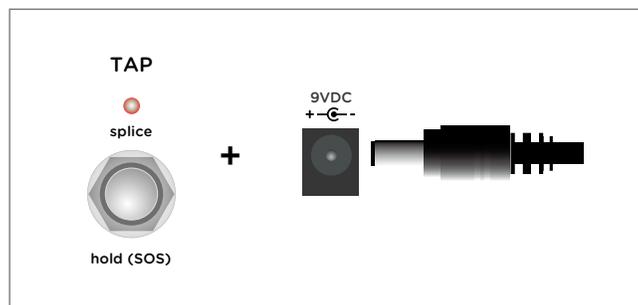
Expression Pedal Mode = GREEN: Expression Pedal mode (エクスプレッション・ペダル・モード) グリーンに点灯：エクスプレッション・ペダルで複数のノブを同時にコントロールします。

External TAP Mode = AMBER: External TAP mode (外部タップ・モード)：外部ミニスイッチからタップテンポをコントロールします。

Preset Mode = BLUE: Preset mode (プリセット・モード) ブルーに点灯：MultiSwitch Plus (マルチスイッチ+) またはMIDIコントローラーで3つのプリセットが操作できます。

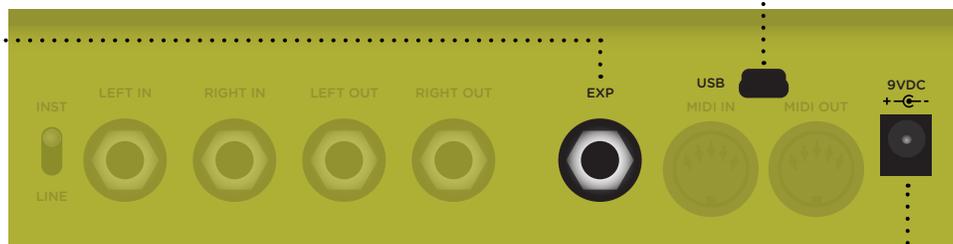
Speed Mode = PURPLE: Speed Mode (スピードモード) パープルに点灯：Strymon MultiSwitch Plus (マルチスイッチ+) を使用するモードです。

Transport Mode = RED: Transport mode (トランスポート・モード) レッドに点灯：トランスポート・コントロールがMultiSwitch Plus (マルチスイッチ+) で操作できます。



USB

MIDI コントロールをコンピューターから行う場合に使用します。



POWER パワー

センターマイナス、9VDC / 300mA 以上が供給できる電源が必要です。

フットスイッチ

ON オン

オーディオプロセッシングをオンにします (GREEN に点灯、バイパスは消灯)。押しっぱなしだと無限リピートが得られます (RED に点灯)。

バイパス機能はデフォルトではトゥルーバイパス、バッファードバイパスへの変更が可能です。詳しい説明は 14 ページをご覧ください。

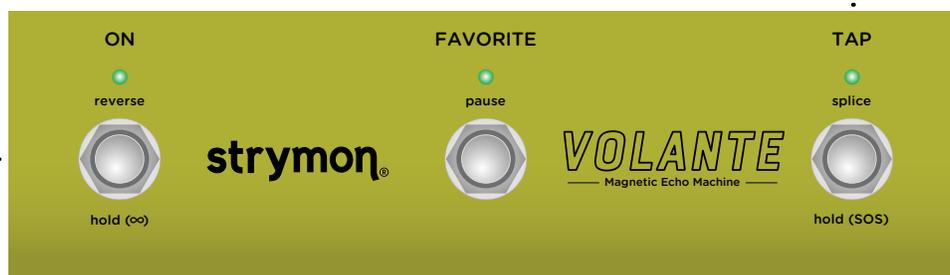
TAP タップ

再生ヘッド 4 がリピートする 4 分音符のディレイを設定します。TAP LED が点滅して 4 分音符のディレイタイムを表示します。

half - 100ms ~ 4sec

normal - 100ms ~ 2sec

double - 100ms ~ 2sec



FAVORITE お気に入り (アクティブ・フェバレット)

本機は MIDI や外部スイッチ無しで、8 つのプリセットセーブとリコールが可能です。FAVORITE で三つの異なる機能にアクセスできます。

アクティブ・フェバレットのリコール

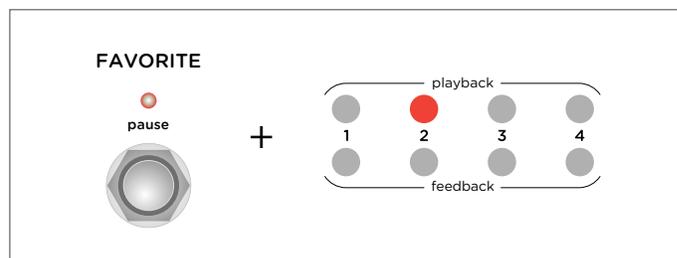
RECALLING ACTIVE FAVORITE (アクティブ・フェバレットのリコール) :

FAVORITE スイッチ押しっぱなしでプリセットをリコールします。

FAVORITE スイッチを押しながら、playback/feedback のいずれかのスイッチを押すと、8 つのプリセットにアクセスできます。

アクティブ・フェバレットの選択

FAVORITE を長押ししながら、playback/feedback ボタンのいずれかを押しっぱなしにします。各ボタンはプリセットロケーションでセーブされているプリセットがリコールされます。



SAVING TO A PRESET LOCATION (プリセットのセーブ)

1. FAVORITE LED が BLUE に点滅するまでスイッチを長押しします。その後スイッチをリリースします。
2. 8 個の playback/feedback スイッチから一つを選び、それを押しっぱなしでプリセットをセーブします。プリセットをセーブしない場合は、これらのボタンを押さずに FAVORITE スイッチを押しっぱなしにしてください。
3. MIDI 経由でコントロールする 9 つ目以降のプリセットに保存する場合、FAVORITE LED が BLUE に点滅中に保存したい MIDI PC# を送信します。

セーブしない場合は TAP スイッチを押しっぱなしにします。

ノート: 本体で操作可能な 8 プリセットは、MIDI プログラムチェンジ (PC#) の 0 ~ 7 番に割り当てられます。

※ プリセットのセーブは、ノブ、スイッチ、ボタンのセッティング、ライブエディット機能、エクスプレッション コントロールまで全てをセーブします。

Sound on Sound (SOS) サウンド・オン・サウンド ルーパー・モード

TAPスイッチを長押ししてSOSモードの出入りを行います。

SOSモードに入るとON LEDは **AMBER** に点灯します。

SOSモードのフットスイッチ機能は次に説明します。

ON オン

ON(reverse)を押すと、SOSルーパー (**RED**点灯)を一時的に逆再生します。

長押しすると録音が止まり、録音されているループが繰り返し再生されます。(LED は点滅)

SPEED スピード

SOSモードの最大録音時間：

half - 64 sec

normal - 32 sec

double - 16 sec



FAVORITE フェバレット

FAVORITE (pause)スイッチでループの再生をStop/Resumeします。

このスイッチングの際、メカニカルなテープマシンを模倣した「スローダウンストップ」「スロースタートアップ」のランプ効果が得られます。(AMBERに点灯します)

TAP タップ

TAP (splice)スイッチを一度押すと、押した時にループのспライスがセットされます。(TAP LEDはアンバーに点滅します。) **AMBER**

再度、спライスを押すとするとそのポイントからループの再生が始まります。(TAP LEDはアンバーに点灯します。) **AMBER**

もう一度спライスを押すと、録音されたループが消されます。(TAP LEDは消えます。)

ノート：再生、ストップの立ち上がり時間、SOSリピートレベル、SOSループレベルは調整可能です。マニュアルの11ページをご覧ください。

ループ録音のやり方

- 1 TAP スイッチを長押しして SOS モードに入ります。
- 2 TAP (splice) スイッチを押して録音を始めます。
(TAP LEDはAMBERに点滅します)
- 3 再度TAP (splice) スイッチを押してループ再生を始めます。
(TAP LEDはAMBERに点灯します)
- 4 さらにもう一度、TAP (splice) スイッチを押すと再生が止まり、ループが消去されます。

サウンド・オン・サウンド (SOS) のヒント

∞ ホールド

ON (∞) フットスイッチをホールドすると録音が止まり、録音されたループが永続的に再生されます。
(LEDが点滅します)

REVERSE リバース

ON (reverse) スイッチを押すと、録音されたループが逆再生されます。
(LEDはREDに点灯します)

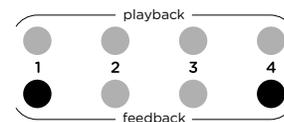
PAUSE ポーズ

FAVORITE (pause) フットスイッチを押して、ループの再生を消去せずに一時止めることができます。
(LEDはAMBER に点灯します)

同じフットスイッチを長押しすると再生が止まり、メカニカルなテープマシンを模倣した「スローダウン ストップ」「スロー スタートアップ」のランプ効果が現れます。このスピードは調整できます。詳しくは 11 ページをご覧ください。

ライブエディット機能

Volante にはノブやスイッチが割り当てられていない機能がいくつかあります。下記のように FEEDBACK ボタンの 1 & 4 を一緒に押しながら、指定のノブでそれらを設定します。



MIDI クロック

REC LEVEL ノブで MIDI clock (クロック) の同期を設定します。

Off = RED (デフォルト)

On = GREEN

ポーズ ランプスピード

MECHANICS ノブで調整します。左に回すとランプ (立ち上がり) はより遅く、右に回すと早くなります。

SOS リピートレベル

REPEATS ノブで調整します。左に回すと SOS ループを繰り返す回数が減ります。

SOS ループレベル

ECHO LEVEL ノブで調整します。左に回すに従って、SOS ループボリュームが下がります。



MIDI エクスプレッションの反応 / 無視

MIDI Expression CC #100 への反応を LOW CUT ノブで選択します。

Off = RED (デフォルト)

On = GREEN

スプリング ディケイ

スプリングリバーブのディケイタイムを SPRING ノブで調整します。右に回すとリバーブのディケイタイムが長くなります。

ノート: これら上記の変更はプリセットごとに保存されます。

エクスペッション ペダルのセットアップ方法

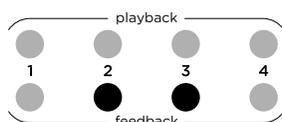
TRS ケーブルを使用するエクスペッションペダルで Volante のノブを操作します。

- 1 EXP ジャックをエクスペッションモードに設定します。このマニュアルの 7 ページをご覧ください。



- 2 TRS ケーブルでペダルと Volante の EXP ジャックを接続します。

- 3 全てのボタンが**GREEN**に点滅するまで、図のように feedback 2&3 ボタンを長押しします。



- 4 ペダルをヒールポジションへ戻すと feedback ボタンが**GREEN**に点滅します。

- 5 ヒールポジションで操作したいノブのポジションをセットします。すると feedback ボタンが**RED**に点滅します。

- 6 ペダルをトゥポジションへ動かすと feedback ボタンが**GREEN**に点滅します。

- 7 トゥポジションで操作したいノブのポジションをセットします。すると feedback ボタンが**RED**に点滅します。

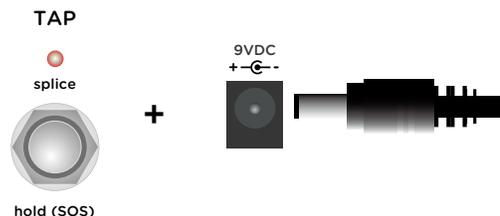
- 8 feedback ボタンを押し、この設定モードから出ます。ボタンの LED の消灯します。

ノート：セーブされたエクスペッションペダルの設定は、FAV のセッティングまたは MIDI プリセットリコールで呼び出せます。

パワーアップモード

グローバルパラメーターやグローバル機能の変更方法を以下で説明します。

- ・まず、ペダルの電源を抜きます。TAPを長押ししながら9V電源を接続します。
- ・設定したい機能を下記の中から選んで実行します。
- ・再度TAPを押してパワーアップモードから出ます。



MIDI チャンネルの設定

図のように REC LEVEL ノブを回してチャンネルを選びます。

1 = GREEN (デフォルト)

2 = AMBER

3 = RED

4-16 = BLUE (チャンネルはMIDIメッセージで決まります)

MIDI PC メッセージを受けると、それと同じチャンネルに設定されます。

TRS MIDI 出力

図のように TIME ノブでモードを選びます。FAVORITE LED がその選択を表示します。

On = GREEN: VolanteのノブやスイッチがMIDIメッセージを発信します。

Through = AMBER: 受信したMIDIメッセージがそのまま出力されます。

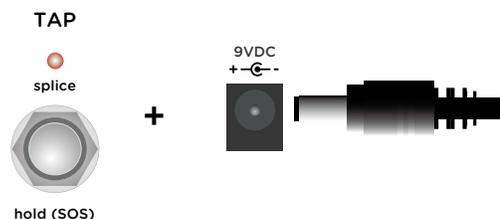
Off = RED: MIDIメッセージはVolanteからは出力されません。



EXP ジャックオプション

図のように ECHO LEVEL ノブを回して設定します。詳しくは7ページをご覧ください。

- ・ 電源をつながないで始めます。TAPスイッチを長押ししながら電源を接続してください。
- ・ 変更したい機能をノブとボタンで行います。
- ・ TAPスイッチを押してこのモードから出ます。



MIDI プログラムチェンジ

PLAYBACK 2 ボタンを押します。

Send MIDI Program Change On = GREEN

Send MIDI Program Change Off = RED (デフォルト)

MIDI CC の送信

PLAYBACK 1 ボタンを押します。

Send MIDI CC On = GREEN

Send MIDI CC Off = RED (デフォルト)

BYPASS モード

FEEDBACK 1 ボタンを押します。

True Bypass = GREEN (デフォルト)

Buffered Bypass = RED

スピルオーバー

FEEDBACK 2 ボタンを押します。

スピルオーバーが自動でセットされ、バッファバイパスモードに変わります。

Persist On = GREEN

Persist Off = RED (デフォルト)

DIN MIDI THROUGH

PLAYBACK 3 ボタンを押します。

On = GREEN (デフォルト)

UI (ユーザー) が設定した MIDI データが出力されます。

Through = RED

MIDI OUT からのデータがそのまま出力されます。

キルドライ

FEEDBACK 4 ボタンを押します。

Kill Dry On = GREEN (ドライ信号なし)

Kill Dry Off = RED (ドライ信号あり) (デフォルト)

出力サム ON/OFF

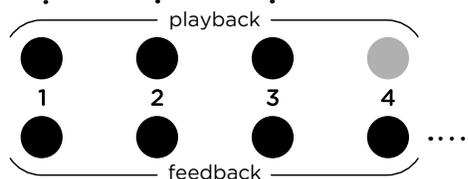
FEEDBACK 3 ボタンを押します。

出力信号をもの信号にサミングします。LEFT OUT を出力に使用します。

Off - STEREO = GREEN (デフォルト)

On - MONO SUM = RED

19-20 ページをご覧ください。



MultiSwitch Plus

❶ EXP ジャックを MultiSwitch Plus (マルチスイッチ +) モードにします。詳細は 7 ページ

❷ TRS ケーブルで VolanteEXP ジャックと MultiSwitch Plus を接続します。



❸ MultiSwitch Plus の A フットスイッチを長押ししながら TRS ケーブルを接続します。この接続で MultiSwitch Plus はプリセットモードに入ります。



Preset Mode
(onboard presets)

Preset 1
(playback 2)

Preset 2
(playback 3)

Preset 3
(playback 4)

OR

MultiSwitch Plus の C フットスイッチを長押ししながら TRS ケーブルを接続します。この接続で MultiSwitch Plus は Speed (スピード) モード or Transport (トランスポート) モードに入ります。

Speed Mode

half

normal

double

Transport Mode

reverse

pause

infinite

❹ MultiSwitch Plus は Volante の EXP ジャックモードに従って働くので、まずそれを設定してください。

ノート: Speed (スピード) モード or Transport (トランスポート) モードは、SOS とノーマルの両

ノート: トランスモードで、MultiSwitch Plus から∞機能を使うと (Volante はノーマルモード)、リピートは発振を起こさずに一定のボリュームで再生されます。

ファクトリー リセット

ペダルをデフォルトセッティングに戻します。

- 1 ONフットスイッチを長押ししながら電源投入します。LEDがREDに点滅します。
- 2 TIMEノブを0-100%へ2度回します。すると、FAVORITE LEDが0でAMBER、100%に回しきったらREDに変色します。リセットが完了すると、3つのスイッチLEDがREDに点滅します。



デフォルト セッティング

- ・ EXP 入力ジャック：エクスプレッション モード
- ・ バイパスモード：トゥルーバイパス
- ・ MIDI channel：1
- ・ MIDI エクスプレッション On/Off：Off
- ・ TRS MIDI 出力モード：Off
- ・ Send MIDI PC：Off
- ・ Send MIDI CC：Off
- ・ DIN MIDI THROUGH：On
- ・ Kill Dry (キルドライ)：Off
- ・ Output Sum (出力サミング) On/Off：Off – Stereo
- ・ Persist：Off

MIDI - スペシフィケーション

本機には 300 のプリセットロケーションがあり、0-299 のナンバーでシーケンスされます。MIDI プログラムチェンジは最大 128 (0-127) のため、プリセットは 3 つの MIDI パッチバンクに振り分けられます。

- MIDI BANK 0 = PRESETS 0-127
- MIDI BANK 1 = PRESETS 128-255
- MIDI BANK 2 = PRESETS 256-299

本機は電源オンで MIDI Patch Bank 0 に設定されます。変更しない限り 0-127 のプリセットが MIDI PC で切り替えることができます。

MIDI Banks 1 &/or 2 を使用する際は、MIDI PC の前に MIDI Bank Change メッセージ (MIDI CC# 0 w/MIDI Bank#) を送れるようにできます。

「bank 0、patch 127」を選ぶと本機はマニュアルモードに入り、操作面のノブやスイッチのセディンで動作します。このプリセットには保存できません。

MIDI CC コントロール

PARAMETERS	CC#	RANGE	NOTES
Bank Select	0	0-2	
Type	11	1-3	{1=studio, 2=drum, 3=tape}
Echo Level	12	0-127	
Rec Level	13	0-127	
Mechanics	14	0-127	
Wear	15	0-127	
Low Cut	16	0-127	
Time	17	0-127	
Spacing	18	0-127	{even=0, triplet=34, golden=94, silver=127}
Speed	19	1-3	{1=double, 2=half, 3=normal}
Repeats	20	0-127	
Head 1 Playback Off/On	21	0, 127	{0=off, 1-127=on}
Head 2 Playback Off/On	22	0, 127	{0=off, 1-127=on}
Head 3 Playback Off/On	23	0, 127	{0=off, 1-127=on}
Head 4 Playback Off/On	24	0, 127	{0=off, 1-127=on}
Head 1 Level	25	0-127	
Head 2 Level	26	0-127	
Head 3 Level	27	0-127	
Head 4 Level	28	0-127	

Continued on next page...

MIDI CC Numbers

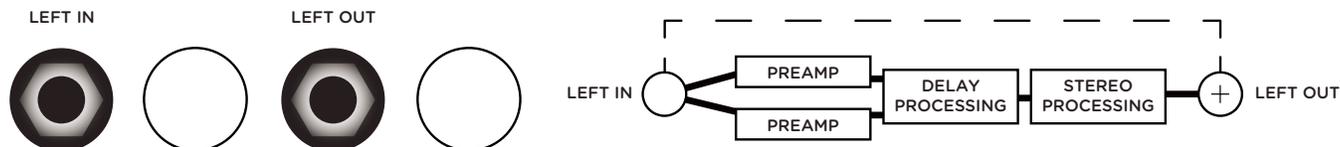
PARAMETERS	CC#	RANGE	NOTES
Head 1 Pan	29	0-127	
Head 2 Pan	30	0-127	
Head 3 Pan	31	0-127	
Head 4 Pan	32	0-127	
Head 1 Feedback Off/On	34	0, 127	{0=off, 1-127=on}
Head 2 Feedback Off/On	35	0, 127	{0=off, 1-127=on}
Head 3 Feedback Off/On	36	0, 127	{0=off, 1-127=on}
Head 4 Feedback Off/On	37	0, 127	{0=off, 1-127=on}
Pause ramp speed	38	0-127	
Spring (level)	39	0-127	
Spring Decay	40	0-127	
SOS mode	41	0, 127	{0=normal, 1-127=SOS}
Pause (no ramp)	42	0, 127	{0=unpause, 1-127=pause}
Pause (ramp)	43	0, 127	{0=unpause, 1-127=pause}
Reverse	44	0, 127	{0=normal, 1-127=reverse}
Infinite Hold (w/ oscillation)	45	0, 127	{0=release, 1-127=hold}
Infinite Hold (w/o oscillation)	46	0-127	{0=release, 1-127=hold}
SOS Loop Level	47	0-127	
SOS Repeats Level	48	0-127	
MIDI Expression Off/On	60	0, 127	{0=off, 1-127=on}
MIDI Clock Off/On	63	0, 127	{0=off, 1-127=on}
Footswitch On	80	0, 127	{0=release, 1-127=press}
Footswitch Favorite	81	0, 127	{0=release, 1-127=press}
Footswitch Tap	82	0, 127	{0=release, 1-127=press}
Persist	83	0, 127	{0=persist off, 1-127=persist on}
Kill Dry	84	0, 127	{0=dry off, 1-127=dry on}
Output Sum	85	0, 127	{0=stereo, 1-127=sum}
Remote Tap	93	any	
Expression Pedal	100	0-127	
Bypass/On	102	0, 127	{0=bypass, 1-127=on}

出力モード

入出力の接続により、信号のルーティングが以下のように異なります。

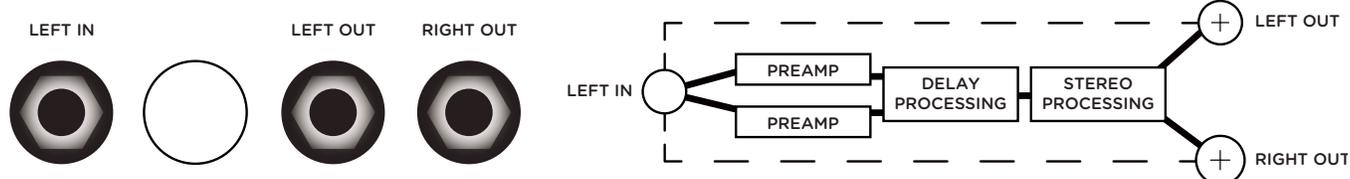
MONO IN - MONO OUT

モノ入力のドライ信号は L IN → L OUT へ、プロセッシングは図のように行われます。



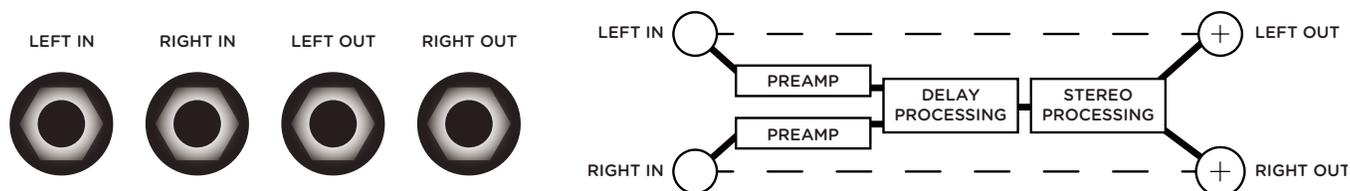
MONO IN - STEREO OUT

モノ入力のドライ信号は L IN → L & R OUT へ、プロセッシングは図のように行われます。



STEREO IN - STEREO OUT

ステレオ入力のドライ信号は L & R IN → L & R OUT へ、プロセッシングは図のように行われます。

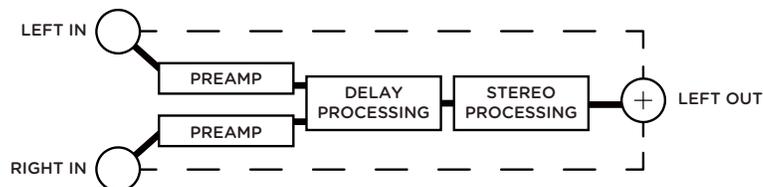
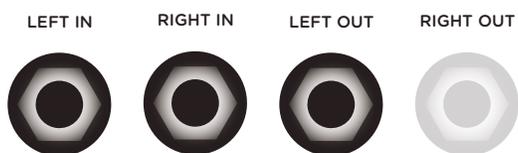


--- ドライ信号
 — ウェット信号

ノート: モノ入力の場合は、S/Nを良く保つために L & R 両アナログプリアンプを使用しています。

STEREO IN - MONO OUT (SUM MODE)

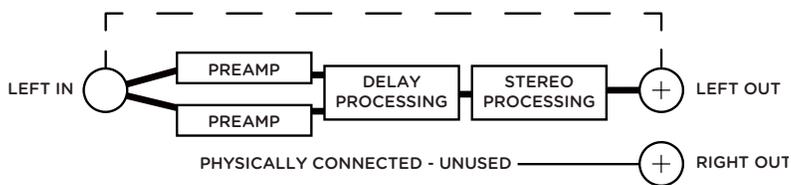
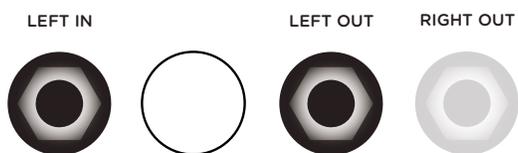
ステレオ信号が L & R 入力に接続された場合、ドライ信号がサミングされて L OUT からモノ出力されます。



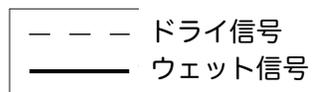
ノート: ステレオ出力接続でモノ出力したい場合、SUM (サミング) モードにして L OUT から出力します。

MONO IN - STEREO OUT (SUM MODE)

モノ信号が L IN に接続された場合は、ドライ信号が L IN → L OUT へ出力されます。

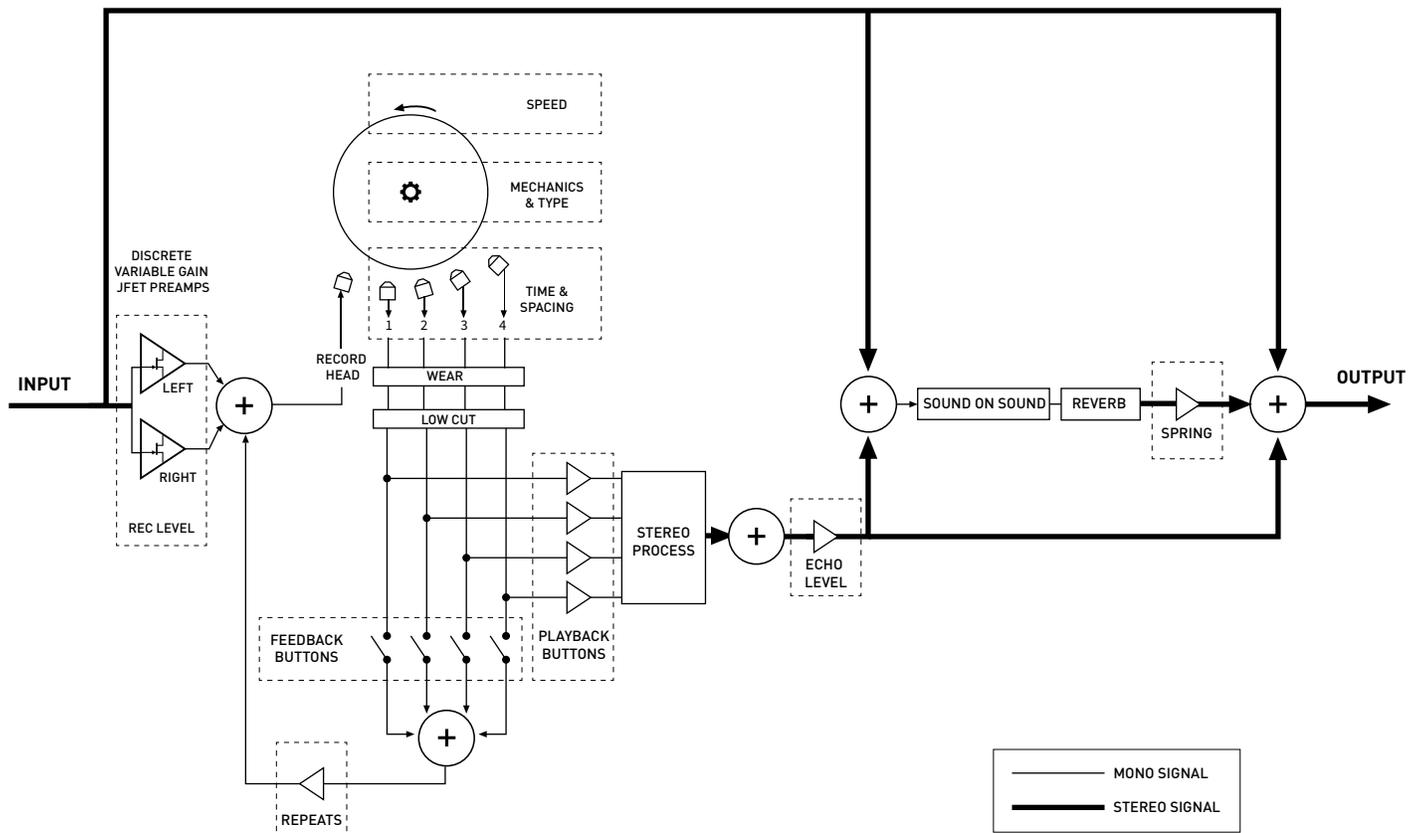


ノート: SUM (サミング) モードでは、全ての信号が L OUT へルーティングされます。



信号経路ダイアグラム

Volante の信号パスを説明する図です。



主な仕様

- ・ マルチヘッド・マグネティック・メディア・ディレイ：フィードバック、パン、レベルが再生ヘッドごとに設定できます。
- ・ プロセッサの演算能力の限界に迫る複雑なアルゴリズムが、ビンテージ・マグネティックエコーシステム（ドラムエコー、テープエコー、スタジオオープンリールエコー）の細部&ニュアンスまで再現します。
- ・ エコーマシンのトーンやメディアのコントロールも備えています。：Low Cut、Mechanics、Wear
- ・ 入力録音レベルを搭載し、ピュアなクリーンサウンドからウォームで太いサチュレーション・サウンドまで設定できます。
- ・ 独立スプリング・リバーブ（Spring Reverb）を搭載。
- ・ サウンド - オン - サウンド（ループモード）に、リバーブ、ポーズ、サプライズ、無限リピート機能を搭載。

スペシフィケーション

入力インピーダンス 1M Ohm
 出力インピーダンス 100 Ohm
 A/D & D/A 24-bit 96kHz
 最大入力レベル +8dBu
 周波数特性 20Hz to 20kHz
 S/N 115dB typical
 DSP パフォーマンス 1585 MegaFLOPS
 バイパス 電子リレースイッチング - ツールバイパス
 サイズ 11.4 cm x 10.2 cm x 4.4 cm
 アダプター規格 9VDC センターマイナス、300mA 以上

イン、アウト、スイッチ

- ・ ハイインピーダンスステレオ入力
- ・ ステレオ出力
- ・ 入力信号レベル切り替え（インストルメント、ライン）スイッチ
- ・ On、Favorite、Tap Tempo フットスイッチ
- ・ エクスプレッションペダル入力：エクスプレッションペダル、Tap ペダル、1/4" → MIDI ケーブル、strymon MultiSwitch Plus が接続できます。
- ・ MIDI 機能をフルサポートする MIDI in/out
- ・ MIDI via コンピューターが USB から可能です。

オーディオ

- ・ アナログドライ、ドライ信号は ADA されません。
- ・ 高品位 JFET アナログ入力段デザイン
- ・ 超低ノイズ設計、再高品位 24-bit 96kHz A/D & D/A コンバージョン
- ・ 超高速演算 DSP SHARC 使用
- ・ 32-bit 浮動小数点処理

■品質保証に関して

本機は、Strymon 日本総代理店 オールアクセスインターナショナル株式会社がお購入後1年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書（購入期日及び販売店捺印必須）を提示の上、ご購入の販売店に御依頼下さい。保証書の提示が無い場合、保証内であっても1年以内の保証の対象にはなりません。また、全ての商品には、シリアルナンバーが登録されています。

本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いてご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
 2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。
- 本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

■取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。
クリーナーやシンナーは使用しないで下さい。

■サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取扱いは行わないで下さい。記載外の使用方法で本機を使用されますと製品不良が発生する場合があります。必ず本書に基づいた使用方法で使用して下さい。

記載外の使用方法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取扱いは慎重に行ってください。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。

修理が必要な場合は、ご購入先もしくは、弊社へご依頼下さい。

Web : www.allaccess.co.jp Mail : pedal@allaccess.co.jp

Strymon 正規輸入販売代理

AAI

All Access International Inc.

本 社 東京都渋谷区桜丘町30-4-404
名古屋オフィス 愛知県あま市四反田27番地

お問い合わせはこちら

Mail pedal@allaccess.co.jp
WEB www.allaccess.co.jp